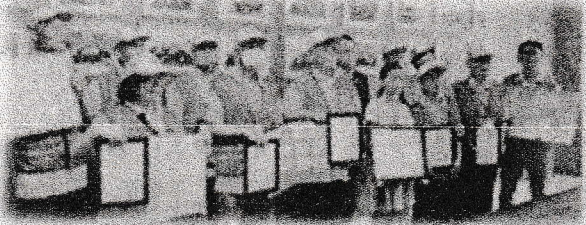


◇夏休みまであと少し！安心安全で充実した38日間を！

このところ、蒸し暑い日が続いていますが、子ども達も教職員も、そんな中でもよく頑張っています！エアコンのない音楽室、家庭科室など特別教室での授業はなかなか大変ですが、週に2～3回の水泳はみんな楽しく気持ちよさそうです。夏風邪や感染症も流行っていますが、長い夏休み、健康にも十分気を付け充実して過ごしてほしいと願っています。

先日「小さな親切運動」の表彰をしていただきました。学校周辺で、子ども達の登下校や地域の安全を見守ってくださっているボランティアの皆様と、御礼の手紙を送った宮竹小児童会に感謝状が送られました。PTAの皆様の旗振り当番もいつもありがとうございます。

子どもたちからの元気なあいさつや声かけが、地域の皆様の大きな力になっているようです。宮竹学区の自慢の見守り隊ですね。今後ともよろしくお願いします！



このところ、学校へお客様が大勢いらっしゃいました。市教育委員会の方々、学校評価部会の皆様、保護者参観懇談会、近隣の小中学校の校長先生方、宮竹学区民生委員の方々、そして最近では、南中グループ5校の先生方や近隣こども園等の先生方が来てくださいました。

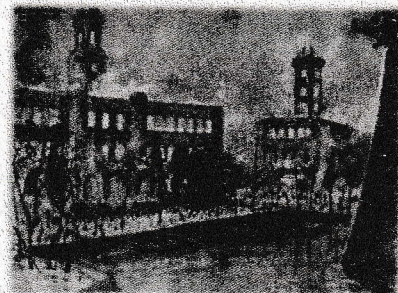


いずれの皆様も、授業中の子ども達の雰囲気良かったこと、学校が落ち着いていること、今までよりも道で挨拶をしてくれる子どもが増えてきたこと等をお話ししてくださいました。また、学習の疑問を先生や友達に伝え、関わり合い教え合う姿、意見を聴いて言葉で伝え合い対話する姿、先生方の工夫された授業で意欲をもち進んで発言する姿等が随所で見られたという感想をいただきました。

今週末からの長い夏休みは、子ども達にとってはワクワクドキドキの毎日だと思います。しかし、この時期は海、山等の事故のニュースが後を絶ちません。いつもと違う場所、海、山などでは特に、事件や事故にみまわれることもあります。どうかくれぐれも「安全第一」でお過ごしいただきたいと思います。

また、夏休みは「平和への祈り」を捧げる時節です。今も、世界各地で、無益な戦いで、人々の大切な命が奪われています。昨年もお伝えしましたが、学校で学ぶ、戦争文学や日本の歴史に触れるとともに、平和について考えるときをご家庭でもぜひもっていただきたいと思います。

昨年より復活した安倍川花火大会も、元は1945年6月の静岡大空襲で犠牲になった多くの人々の御霊を弔う意味があります。日本が再び戦禍にまみえることのないように…



私達大人も子ども達も、戦争を知らない世代が多くなり、あの戦中戦後を体験している人が少なくなっている中、8月6日ヒロシマ、8月9日ナガサキ、そして8月15日終戦記念日にはご家族で平和の意味を考え、子ども達に“黙祷”の意味をご教授いただき、祈りを捧げるとともに、命の大切さについて考えるきっかけとしていただければ幸いです。

校長 伏見倫也